

それゆけ!

みねおくん



企画・発行 小野みねおを育てる会
〒959-34 岩船郡神林村九日市69-2
TEL. 0254-66-6361

私はスポーツが大好きです。人からは底ぬけに明るい男だといわれます。少々ちやわちやわしているのがタマにキズ、ともいわれます。とにかく、一に行動、二に行動です。若さを爆発させて地域のためにがんばります。

健康で明るく豊かな未来を、みんなで築きましよう。

小野 みねお





昭和二十七年九月十三日
新潟県岩船郡
神林村南田中八七三番地







にいちゃん
見えないよ
しょうが
ないなあ

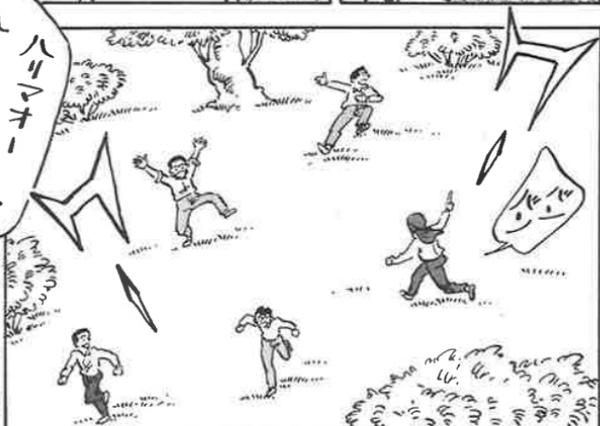
見えるか

うん
見えるよ

当時はまだ白黒テレビが
村に一台あるかないかだった
高度成長が始まる前の
時代である

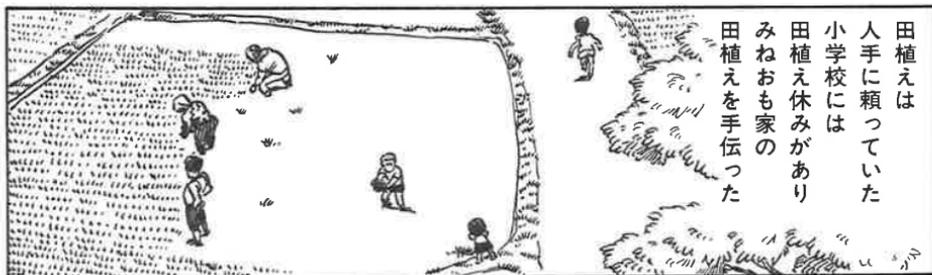


ハリマオー
ハリマオー
お!!



みねおは
外で活発に遊ぶのが
大好きな少年だった





田植えは
人手に頼っていた
小学校には
田植え休みがあり
みねおも家の
田植えを手伝った



アハハハ

ハハハ
なんだみねお
その顔は



ハハハ

へへへ



ゴシゴシ

ふう



東京オリンピックを
起爆剤の一つとして
日本は奇跡の
高度成長を開始した

昭和三十九年
東京オリンピック



しかし神林村は
まだのんびりしたものだ



みねおたちは
刈り取りのすんだ田んぼで
落ち穂拾いをし

それでも
時代の波は急速に
押し寄せる

く
の
夢

機
械
化
農
業

6
年

小
野

乾燥し精米して
町の魚屋さんに売り



もらったお金で
グローブを買った

昭和四十年四月
岩船中学校入学

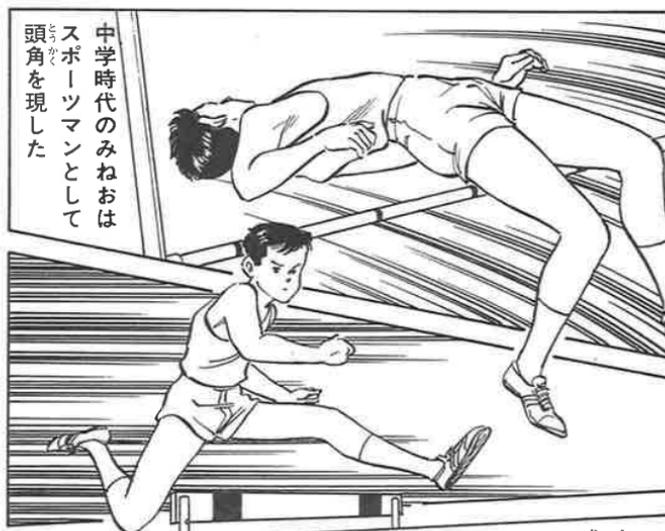


あまり勉強は
しないのだが
成績もけっこう
いい線をいっている



持ち前の
ひょうきんさを
ふりまいていたので
ごく自然に
クラスの人気者にな
った

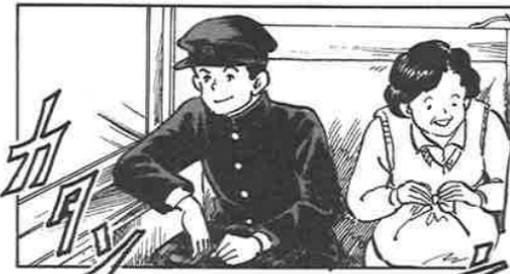
中学時代のみねおは
スポーツマンとして
頭角を現した



昭和四十三年四月
県立村上高校入学



一年の時は
Sで通ったが



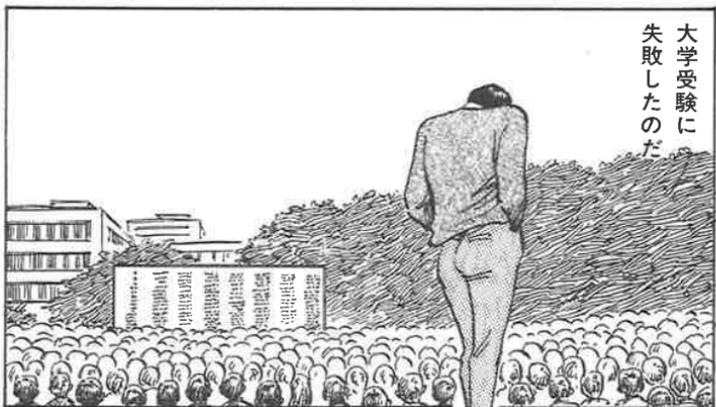
二年になってからは
90ccの
スパーカブで
通学し始めた

ひょうきんスポーツマン
みねおは バドミントン
クラブに入って
青春をひたすらに
燃やした



しかしそんなみねおにも
大きな転機が訪れた

大学受験に
失敗したのだ



予備校

一念発起
みねおは
東京の予備校の
寮に入った



国會議員会館
渡辺紘三氏の部屋

村上市出身
白沢三郎氏
(当時渡辺紘三氏の秘書)



それが先生
スポーツに熱中していて
就職活動を始めるのが
遅かったので もうどこにも
入る会社がありません
みねお二十二歳
法大四年



相変わらず
ノンキだなあ



だがそういう
楽天的なところが
君の長所だ
その長所を大いに
伸ばしなさい

はあ……



昭和五十一年三月
神林村の自宅



ハハハ
ま、心配するな
今後のことは
考えておくから
ハハハハハ



もしもし
渡辺紘三ですが
どうだ元気で
やってるかね



あつ はい
わざわざお電話
いただきまして
恐縮です

君、まだ就職が
決まらんそうだが

は…はい

どうかね
俺んとこへ
来てみないかね

は？



政治の世界というのは
色々誤解されているが
ロマンにあふれた
やりがいのある仕事だ
私も前回の総選挙で
衆議院議員にしていた
地元の事務所に有能な
人材がほしいんだよ
どうかね 手伝って
くれんかね

はあ…でも私は
政治のことは何も
知りませんし
バカですから

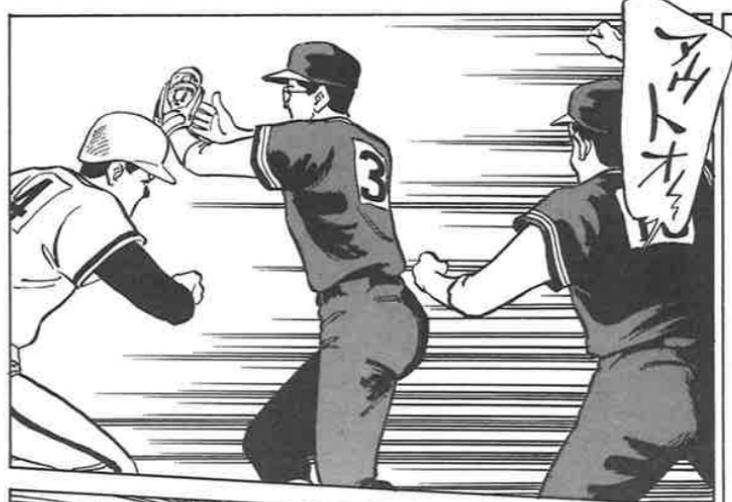
とにかく難しいことを
考えるのが苦手で
……

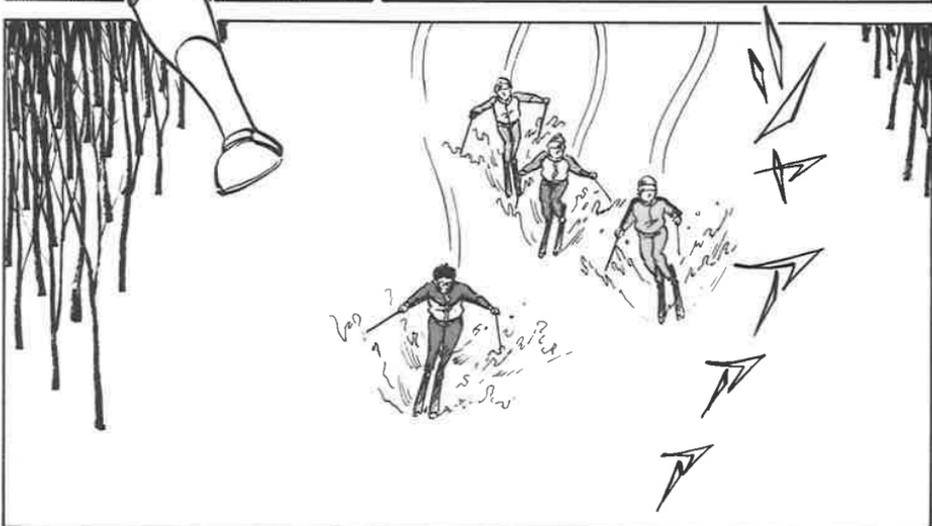


ハハハ
君のその
明るくて
謙虚な人柄が
いいんだよ

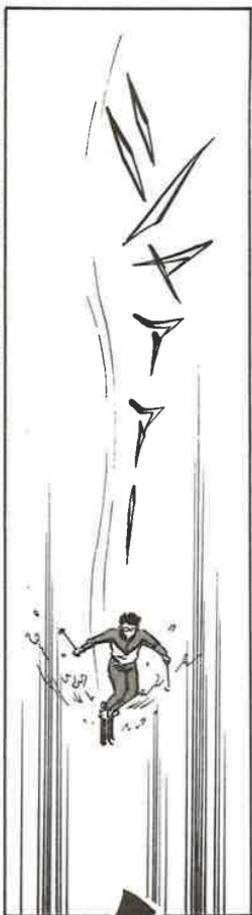
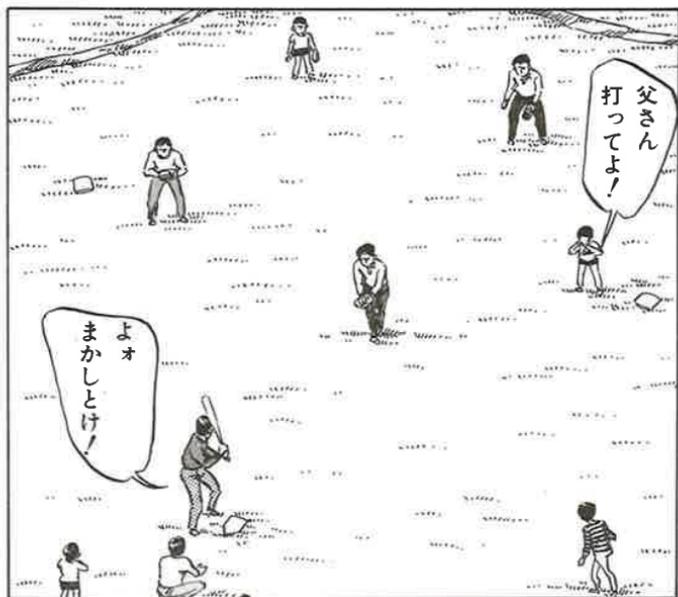
いやあ
そんなこと
ありませんよ
へへへへ











新潟県の未来を拓く！

- ・ 実感できる景気回復
- ・ 人口減少対策
- ・ 安全で安心な社会の実現
- ・ 教育の充実

